

## ケータイ・スマホの使い方 親子コミュニケーションのきっかけに②

今回は、家庭でのケータイ・スマホを使用するにあたってのルールづくりの例について掲載しました。今回も、引き続きルールづくりについて紹介していきたいと思います。

2012年アメリカのマサチューセッツ州に住むジャーネル・ホフマンさんが13歳になる息子にスマートフォンを与えたときにスマートフォンと一緒に使用契約書として18項目の「約束」の手紙を渡しました。世界中で話題になり、新聞やテレビなどでも紹介されていたので御存じの方もいるかと思いますが、18項目もの約束をしなくてはならないというところにも、スマホの持つ問題の深さがあると言えるのではないのでしょうか。

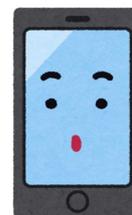
そこで!

### 親子で相談しながらルールを作ってみませんか?



#### STEP1 ケータイ・スマホの利用状況をチェック!

- |  |          |
|--|----------|
| ○契約プラン   | ○契約オプション |
| ○現在の子供の利用状況(以下のような事柄について確認してみましょう)   |          |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケータイ・スマホへの依存状況</li> <li>・メールやラインをしている時間、時刻、回数</li> <li>・通話やメール・ラインの相手</li> <li>・インターネット閲覧状況、アクセスしているサイト</li> <li>・ゲームの利用状況、利用時間</li> </ul> |          |
|  | 等        |



#### STEP2 利用状況が確認できたら、「我が家のケータイ・スマホルール」について親子で相談! それぞれの考えをしっかりと確かめ合ひましょう!

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| ○ケータイ・スマホに対する考え | ○使用時間や使用時刻に対する考え |
| ○使用する場所に対する考え   | ○使用時間やパケット利用の上限  |
| ○守らなかったときに対する考え |                  |
|                 | 等                |

#### STEP3 「我が家のケータイ・スマホルール」に対する考えがまとまったら、いよいよルールづくりです!

- 使用する時間のルール(夜〇時以降は使用しない)
  - 使用する場所のルール(学校では使用しない・家族のいる場所で使用する)
  - 使用する場合・状況のルール(食事中は使用しない・就寝時は居間等に置いておく・直接のコミュニケーションを大切に)
  - ケータイ・スマホ機能に関するルール(個人情報を書き込まない・危険なサイトは閲覧しない・許可なく他人の写真をアップロードしない・掲示板に悪口やうわさを書かない・すぐに検索しないで自分で考える)
  - 利用の上限に関するルール(使用時間は1日〇時間以内・パケット利用の上限を守る)
  - ルールを守らなかったときに関するルール(保護者が〇日間預かる・解約する)
- 等



ケータイ・スマホを与えることは悪いことではありませんが、与える責任をもつことも大切です。単に禁止したり、子供の言いなりになったりせず、保護者の気持ちや考えを子供に伝えて、子供の考えもよく聞いてみましょう。そして、お互いが納得できるルールづくりができるよう、よく話し合ってみてください。



